

あシボ20年のあゆみ

愛川シニアボランティア

発行：2025年2月21日
発行責任者：小島 昭吾

■ あシボ 20 年のあゆみ発行にあたって



あシボ代表
小島 昭吾

お客様より『ありがとう』との言葉に力を戴き20年たちました。社協主催の「定年後の新しい自分探し」講座に賛同した十数名が立ち上げた「あシボ」男性高齢者グループが町内高齢者障がい者様、介護施設、養護施設、愛川町社会福祉協議会等、地域の方々からのご支援を賜り心から感謝申し上げます。

会員の自発性・社会性・無償性を基本に、義務としてではなく、自ら進んで、いきいきと楽しく暮らしていけるよう、共に支え合い学び合い、お客様の喜びを感じて時代に変化対応する活動を続けてまいりました。

高齢弱者の支援は、春からの草取り、植木の剪定、不要品処分、障子網戸の張替え、家具処分、階段の手摺り取り付け等多岐にわたっています。

学童支援では、半原小学校、中津小学校の昔遊びを中心に手作り工作、ゲームと一緒に楽しみ若さみなぎるパワーをいっぱいいただき疲れが吹っ飛びます。

介護施設、公共施設の車いすの保守点検延べ3,551台、東日本大震災後宮城県石巻市中心の塩害車椅子補修点検寄贈等6回24名派遣。

パルシステム・太陽生命様より支援を戴きソロプチミスト日本財団より「社会ボランティア賞」受賞心より感謝いたします。

又、茅誠司元東大総長提唱の「小さな親切」運動本部より、社会に暖かな心の輪を広げたと、実行章を会員全員に授与されました。

元気に20年続けられたことは、家族の理解ある協力と地域ボランティアと社協スタッフの皆様よりの賜物です。会員の健康維持につとめ更なる超高齢化時代に向けて、微力ながら地域貢献をしたいと想います。

今後とも宜しくお願い致します。

■ あシボ結成 2004年

愛川町社会福祉協議会主催の「定年後の新しい自分探し講座」 受講者を中心に2004年結成



設立時メンバー



2005年2月定例会
(青年は実習大学生)



規約とパンフの検討



20周年を祝して

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会
会 長 石 井 康 弘

「あシボ」が、愛川シニアボランティアグループとして発足してから 20 周年を迎えるにあたり心からお祝い申し上げますとともに、関係者の皆様の御尽力に対しまして心から敬意を表します。

さて、町社協では、様々な地域課題に対するボランティア育成等を行っており、2003 年当時、特に団塊の世代と言われる方々が、定年後の新たな生活に不安を感じているなどの声から、「新しい自分探し講座」を開催し、講座の受講者が中心となって組織化し、翌年に「あシボ」が発足しました。「あシボ」の皆様は、現役時代に培った経験・技術を生かし、一人暮らし高齢者や障がいをお持ちの方に対する支援活動を進めてこられました。

このように、地域の皆様が主体的となり地域のために実践する活動が、更に大きく広がると共に、社会貢献のみならず、日々の活動や会員同士の親睦交流を図り、自らの生きがいのためにも活動を盛り上げていただければと思います。

終わりに、この輝かしい 20 周年をひとつの契機といたしまして、貴会のますますの御発展と会員皆様のより一層のご活躍と御健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉



個性豊かな仲間と共に
手を取り合っの柔軟な活動
心から感謝いたします

愛川町ボランティア連絡協議会
会 長 井 上 桂

あシボ、設立 20 周年おめでとうございます。

「あシボ」は、2004 年 7 月に 11 名で結成され、2005 年 4 月に第 1 回総会が行われました。そして、本協議会に 2006 年 4 月に 7 団体目として加盟されています。本協議会は平成元年に設立しており、この時は 18 年目に入って活動も活発になりつつありました。そこに、「男性だけのボランティア」団体が加盟すると聞いて、大いに期待したのを覚えています。

その後、10 周年記念の節目の事業も行われました。そして、各会員のそれまでに培われた経験・技術を活かし、町民のニーズに沿った活動をされ、町民の皆さんに大変喜ばれていると感じています。活動内容も、初めの 10 年とその後の 10 年とは、社会ニーズが変わりましたが、柔軟な対応をされ、個性豊かな持てる力を十二分に発揮されていると思っています。

また、2009 年度、私が会長を仰せつかった時より、貴会代表の小島 昭吾さんには副会長を 16 年もの長きにわたりお願いしています。私にとっては大変頼りがいのある副会長であり、共に活動を続けられてこられたことに心から感謝しています。最後になりましたが、会員の皆さんの特技を活かし、自らの健康も維持して素晴らしい活動を続けてこられましたことに敬意を表し、このような活動が今後も継続されますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

■ あシボの歴史

2004年03月・ボランティア養成講座受講

2004年07月・会を結成11名、「あシボ」と命名

(結成準備会合)
規約とパンフの検討



2005年04月・第一期総会 会則、重要事項制定承認

2006年08月・ふれあい広場、せせらぎ支援要請

2007年08月・子供支援のわくわくフェスティバル大好評

2007年08月・安全作業基準策定、個人支援の有料化

2008年02月・防災教室参加、火災警報器取付支援



(ぴっくり箱)
竹の子掘り支援

2008年12月・町の違反屋外広告物除去講習会受講

2009年01月・子供会の提案でスポーツボール遊具試作

2009年08月・施設ミノワホーム夏祭り参加

2009年12月・ボランティア講座、あシボが担当
料理とスポーツボール、ペンダント作り



(蕎麦打ち講習会)
遠藤講師

2010年04月・車椅子整備事業、本格稼働

車椅子勉強会



2010年10月・町福祉大会、あシボ団体表彰受賞
パルシステム助成金授与

2011年03月・東日本大震災発生、支援物資仕分け等
支援、会で義援金まとめる

2011年11月・せせらぎから施設ボランティアで受賞

2012年01月・手まり学園支援開始

2012年04月・東北石巻エリアで車椅子整備開始

2013年02月・町内車椅子整備累積1,000台超える

2014年07月・味彩会との料理教室

2014年11月・公益財団法人NPO法人日本財団
「社会ボランティア賞」受賞

2015年01月・10周年記念行事

2015年04月・活動対応力促進のため、事業、
安全、健康、教養の4部会を試行

2015年08月・自前講座

チェンソー取り扱い講習会実施

2015年10月・「男性のボランティア養成講座」に
活動体験(講習・実習)をあシボ
全面的に対応

講習に実習あシボ全面的に対応



2016年05月・あシボ8月会員30名に!

2016年10月・宮ヶ瀬地区、車いす整備、
振興財団と調整の上着手

2017年04月・菜の花祭り参加

電動工具取り扱い自前講座実施

2017年09月・町防災訓練、消防署、社協と総合
訓練に参加

2018年05月・JAあいかわ、
車いす整備と外出散歩支援

2019年06月・第13回県工カル大会in愛川に出場

あシボチーム
小島、市川、山下
優勝狙っています



2019年08月・半原児童クラブ
夏休み子ども遊び支援

2019年09月・庭の手入れ、網戸張替え、
ウォーキング活動活発、延べ127名/月

2020年02月・新型コロナウイルス蔓延、パンデミック、
活動大幅に制限される

2020年08月・コロナ禍により活動制限余儀なく、
利用者さんと必要最小限で対応

2021年05月・コロナ禍の影響未だ衰えず、屋外、
最小人員で対応

2022年03月・春日台センターセンター(KCC)
支援(子ども遊び)

2022年07月・庭の手入れ、剪定、草取り等、コロナ
禍前に戻りつつある、延べ57名/月

2022年12月・手まり学園 恒例の餅つき支援

2023年02月・救急救命講座受講、災害ボランティアコ
ーナー養成講座受講

2023年05月・社協の車いす総点検実施、
半原老人センター

2023年10月・福祉の広場わいわいスペース参加

2024年04月・コロナ禍前の活性化に復す体制強化
策の推進

2024年06月・安全部会による、マニュアル改定を
検討、調整

2024年12月・利用者さん宅庭の除草後の長期維持
のため防草シート布設

■ 活動の概要（歴史）



◇ 個人宅支援

地域では多くの独居高齢者、障がい者の方々が、介護保険制度等を利用して生活をされています。しかし、制度では出来ない仕事がいまあり、私たち男手の出番です。庭の手入れ、障子貼り・網戸張り、電球交換、家具移動等、出来る事は何でもお手伝いして喜んでもらい、私達も綺麗に出来た仕事を見て達成感を得ています。

あ

シボは、60歳以上の会社(仕事)人間だった男たちが、社会(地域)人間に脱皮して元気に活動しているグループです。経験や趣味を生かして高齢者や障がい者の手伝い、施設・団体の支援活動を初めて20年になります。

無理せず「できることを、できるときに、できる人がする」を大切に、会員20名で楽しく活動しています。



三脚脚立使用
草刈り機使用
手摺取付け

・障子貼替え・防草シート張り・網戸張替え・剪定作業



◇ 施設支援

町内の高齢者福祉施設8施設、児童養護施設1施設で活動しています。一番多い仕事は車椅子の整備作業ですが、納涼祭、餅つき大会等のイベント手伝いや、布団入れ替え、草刈り、小修理、子ども遊び支援等の活動もやっています。人生の先輩方の役に立ち、将来のある子ども達を見守る事ができて、やりがいのある活動です。



餅つき
将棋相手
大人気です



あシボへの想い！



遠藤 幸夫 2004年5月入会 細野区



あシボ設立時から参加して 20 年、高齢の為、体力的に戦力外同様になってしまいましたが、たくさんの思い出があり、ご一緒出来た皆さんには、お世話になり感謝しています。

リタイア後、地域の役に立ちたいと参加しましたが、逆に活動を通じて利用者さんから、「ありがとう」と感謝され、生きがいを感じ頑張れました。あシボでの活動経験から、ボラ活動・趣味等、地域社会で人と交流、繋がる事が多くなり、楽しく充実した暮らしを実感しています。今後、あシボが新しい仲間を増やし発展していく事を願っています。

三澤 保彦 2004年5月入会 上熊坂区



「定年後の新しい自分探し」・・ふと目についたこの一文。定年後の時間、もう一つの道もあるのでは、心の置きどころをあらため社会福祉協議会の講習会に参加。何度か会合の末集まったメンバーで握手。社会にお役に立ちたい、の心でいつの間にか 20 年！ いい仲間と、いい活動が出来心地良い汗をかいています。実経験を活かし、仲間とお互い研鑽し、健康管理もでき一石三鳥。同じ気心の仲間を募りさらに今後も出来るだけ、続けてみたいと思っております。

山下 雅邦 2004年5月入会 小沢区



2002 年に会社を定年退職し 2 年が過ぎ毎日退屈し今日は何をして過ごそうかとしていたところお茶の間通信で社会福祉協議会の男性だけのボランティア募集が掲載されていたので直ぐに申し込みボランティア活動を始めた。早いもので 20 年が過ぎた。お年寄りの庭の草むしり、木の剪定、障子、網戸の張替え等、いろいろと活動してお年寄りに喜んでいただき又、いい仲間と活動出来る事を嬉しく思います。あと何年活動出来るかわからないがもう少し頑張ってみようと思っています。

石川 文雄 2004年5月入会 両向区



人の前に明かりを灯せば我が前も明るくなる。

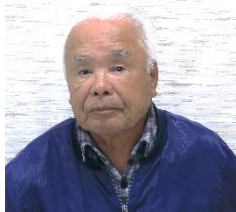
ボランティア精神でやってまいりました。高齢ですが人様のお役に立ちたいと思います。これからも頑張っていきたいと思います。

村川 博 2006年11月入会 熊坂区



退職後、中津公民館にて他のグループで活動していた時に感じたことは利用者の女性の皆さん達の楽しそうな会話や複数のグループにも所属されながら生き生きと活躍されている姿をみて女性の長生きの秘訣を学ばせていただき自分のモットー！に取り入れました。

それは「きょういく」と「きょうよう」で「教育」と「教養」ではなく、「今日行く」と「今日用」で要約すると意識して自ら求めて外へ出掛けることを心掛け現在 5 団体に所属して毎日健康第一で飛び廻っています。

見代 和男 2010年1月入会 田代区

私はボランティアを何も知らず我武者らにやってきました。先輩方に喜ぶ事をすればいいのだなと思いこみ、それで良いとしました。以後、車椅子が全盛期の頃は私は工具を集め神さんに負けない様に特殊工具を揃えました。今ではその工具を使うことはありません。コロナ感染が減少しても元の姿には戻れません。最近、将棋が盛り返しているのでしょうか？若い人が将棋をやるのを見ると格好よく見えるのは何故でしょう。正月が近づき餅つきが見られる事が素敵に見えます。愛和の里で入居者さんを前にして餅つきを見せていました。メリハリが大切なんですね。ベットから起きて来られて私と将棋を指しました。ほんの一時的かも知れませんが大切な時間なんですね。

小林 保男 2010年1月入会 春日台区

退職後半年過ぎたころから、40 年間会社人間で地域の事が皆無でした小生に、何か地域貢献や福祉活動を出ることはないかと模索していました。タイミング良く社協で「ボランティア養成講座」に参加した際「あシボ」の紹介が有り、活動内容が自分に適していることで 2010 年に入会した。個人宅、施設、イベント支援等地域社会と密接した団体で、大きな意義がありました。中でも数回に渡り石巻被害地支援活動は、忘れられない出来事でした。

笹原 虎夫 2010年1月入会 厚木市

定年後、角田の陶芸教室で国際交流クラブの方から「あシボ」を教えて頂きました。

生活の大部分を愛川にお世話になり愛川町に何らかのお返しをしたいと思い、会則の変更までして頂き 2010 年 1 月に入会させて頂きました。地域に不案内で、会員の皆様に迷惑を掛けながらの参加でした。個人利用者様の喜ぶ姿と「ありがとう」の言葉に支えられ、続けて来れたエネルギーでした。入会して 15 年、齢 80 歳を過ぎ、足腰が弱り限界に近いが、もう少し続けたいと思います。

鈴木 哲夫 2010年1月入会 六倉区

あシボに入って14年、月日の経つのがあっという間に感じます。その間子供相手にパワーをもらい、東日本大震災の活動、高齢者宅への各種作業お手伝い、仲間同士の親睦、ボラ連視察研修などを通しての他のグループとの交流等々いろいろなことを経験したことに感謝。今後新しい仲間の獲得を目指すとともにさらに何年かはあシボの一員としてこの活動を続けていきたいと思います。

石井 昇 2012年11月入会 細野区

『2004年の立ちあげから20年』
今日まで継続されてこられました諸先輩方々に心から敬意を表します。私が入会させていただいたのは2012年だったと思います。健康管理の一つとして選ばせていただき、さまざまな経験をすることができました。ありがとうございました。

神 義之 2013年3月入会 六倉区

あシボに入会のきっかけは 2 年前まだ仕事をしていた時のこと、ある切っ掛けで小林さんと知り合いボランティア(あシボ)に誘われました。入会して驚いたことは多種多様さに驚き自分は皆さんと一緒に活動に就いて行けるかが心配でしたが、活動の中で知らない処を先輩方に聞きながら見よう見まねで自分なりに努力してきた矢先、入会后 3, 4 ヶ月で皆さんに多大なご迷惑をお掛けする事になり退会を考えた事もありましたが、健康と自分の為と思い留まり、それから 10 年後又、ここに来て同じ迷惑を掛ける事と成りましたが、これからは皆さんの足手まといにならないよう努めて参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

山田 常雄 2013年5月入会 春日台区

2012 年 10 月に会社退職後、6 ヶ月を過ぎた頃、ソフトボールで知り合いの方(OBの佐藤重信さん)に「あシボと言うボランティアに入っている。君もどう？」と誘いを受け、何も分からず入会したのが弱いきっかけ。それ以来、会員皆さんの暖かいご指導を受け、少しは困っている人の手助けに成っているのかなあと感じ。そして、それを糧に今後もボランティア精神に則り、活動して行きたいと思っています。

藤元 博文 2017年9月入会 両向区

あシボに入会し 7 年目になります。DIY、木工、庭仕事が好きなので、それを地域活動に活かせないかと考えて、あシボのメンバーに加わりしました。振り返ってみると、物心ついてから今まで近所や職場の年配の方やお年寄りの方からたくさんお世話になりました。

あシボの活動は、その恩返しの一つかなあとと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

伊坂 和夫 2019年10月入会 細野区

私は現在、民生・児童委員を努めています。あシボメンバーに加入して 6 年目になります。私自身は其中で特に半原・田代地区の一人暮らしのお年寄り、障がいを抱えた方と、施設や団体イベント等を私自身の都合の良い日に出来る範囲でメンバーの一員としてお手伝いしています。

愛川町は愛が二つある町です。それにふさわしい活動を心を込めてやっています。

井村 勝彦 2019年10月入会 大塚区

あシボ創立 20 周年おめでとうございます。75 歳までサラリーマン一筋で社会福祉協議会やあシボとの接点は全くありませんでした。入会して一番感動したのはお年寄りに対する心からの優しさでした。歳が歳だけにいつまで出来るか解りませんが、身体と心の健康に気を付け、あシボの活動に貢献出来れば良いかなあと 생각합니다。

伊藤 富次 2021年5月入会 細野区

地域との繋がり、人の役に立つ喜び、シニアになって仲間が出来る喜び、自分の生きがい広がりがチャレンジしやったぜーと喜び満足幸福感といった達成感が得られた。お年寄りが抱えている困った人達が「頼んで良かったありがとう」の一言が次のステップとなり、仲間達と今後チャレンジし人の役に立つ活動に続けて行きたいと思います。もうひとつの生きがいとしている事は、自分が作った野菜を孫達に食べてもらう事が出来、今後も農園を続けて行きたいと思う。

森木 一彦 2023年4月入会 細野区

「あシボ」の活動には自分の経験と、知らないことは教わりながら、出来る範囲で参加しています。20 年来続けている富士山の撮影は、一人で動き自らの感性で作品を創ります。一方「あシボ」は①仲間と共に②短時間で達成感を味わい③感謝されることが心地良く、富士山の撮影と併せ、私の心と身体の栄養剤です。

佐々木 和雄 2023年10月入会 細野区

あシボに入会して早くも1年が経ちました。早いものですね！その間、仲間の皆さんには色々解らない事等をご指導して頂きなんとか自分なりに活動する事ができました。感謝しています。今までは地域の交流はありませんでしたが（畑仕事で過ごしており）近所のあシボ会長から活動を進められました。入会してからはあシボ仲間との交流が増え楽しく活動をやらせて頂いています。もっと仕事に慣れ活動を推進していければと思っています。

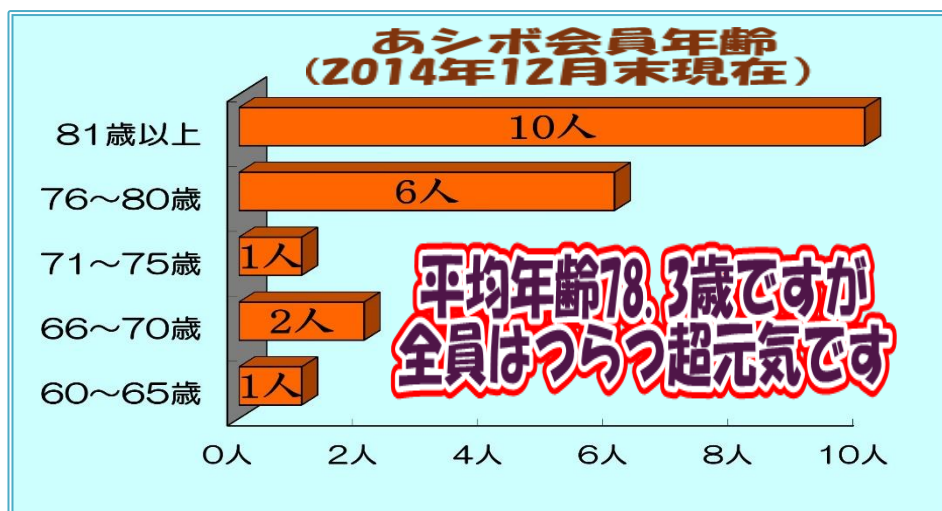
辻 治朗 2024年11月入会 熊坂区

今年で66歳になりますが会社員としての生活も終わり何か少しでも地域のお手伝いが出来ないか探していたところ町のホームページであシボのアットホームだけどきっちり男性だけで楽しく活動されている様子を拝見して入会させていただきました。

実際の活動はこれからになりますがまだ分からない事も多くご迷惑をかける事もあると思いますが宜しくお願い致します。

OB会員

後藤 常夫	熊坂区
佐藤 重信	大塚区
高橋 清輝	三増区
福島 正美	大塚区
村上 正四郎	熊坂区



車椅子施設支援

2009年12月のボランティア養成講座で、車椅子の整備をしているグループ紹介があり、我々の活動にも取り入れる事とし、ニーズ調査と勉強会を行いメンバーのスキルアップと道具、工具を取り揃えた。現在町内の施設で使用中の車椅子を順次点検整備し、2024年12月での累積整備台数は3,500台を超え各施設からも好評を戴いております。あシボの主力支援項目になっております。

★車椅子点検整備施設

- ・志田山ホーム
- ・せせらぎ
- ・愛和の里
- ・社会福祉協議会
- ・愛川町、文化会館、各行政区公民館等
- ・ミノワホーム
- ・グループホームさくら
- ・JAあいかわ
- ・宮ヶ瀬ダム関連施設

2020年3月～2023年12月コロナ感染症で各施設対応不可にて中止

支援推移		整備数		累積数	
年度	施設数	人員	台数	人員	台数
2010.07 始	3	179	335	179	335
2011 年度	4	173	317	352	652
2012 年度	5	110	196	462	848
2013 年度	6	162	334	624	1,182
2014 年度	6	147	337	771	1,519
2015 年度	7	158	346	929	1,865
2016 年度	8	161	339	1,090	2,204
2017 年度	8	174	399	1,264	2,603
2018 年度	8	162	382	1,426	2,985
2019 年度	8	182	389	1,608	3,374
2020 年度	3	31	69	1,639	3,443
2021 年度	1	10	20	1,649	3,463
2022 年度	2	7	8	1,656	3,471
2023 年度	2	16	33	1,672	3,504
2024 年度	5	24	47	1,696	3,551

石巻市地域被災地支援

2011年3月のあの忌まわしい大震災後、あシボで対応可能な支援は何かを模索中に、メンバーの娘さんが石巻市地域で救援活動をし、小規模の介護施設で車椅子が津波の影響で使えなくて困っているとの情報を得、我々に対応可能と判断。調整会議や検討の結果2012年4月から現地支援活動を開始した。以後約3年間で8施設5仮設住宅を3泊4日のクルーで6度に渡り現地を訪問。累積台数349台対応人員24名に達した。愛川町で再生した車椅子も15台寄贈し、現地施設関係者の心の支えも支援出来たのではと思っています。

支援時期、回数 その他

2012.06. 第一次 4日間	3名	5施設訪問	38台
2012.10 第二次 4日間	5名	7施設訪問	56台
2012.12 第三次 4日間	4名	8施設訪問	58台
2013.03 第四次 4日間	4名	13箇所訪問	49台
2013.10 第五次 4日間	4名	13箇所訪問	69台
2014.03 第六次 4日間	4名	13箇所訪問	79台

現地施設関係者の心の支えも支援



石巻市内の仮設住宅での整備



◇ 団 体 支 援 ◇

・ふれあい広場



毎年残暑厳しい9月田代運動公園で開催。あシボは

缶積み、スマートボール、ストラックアウトゲームを担当。後半は、かき氷、ポップコーン作りに楽しい汗をかいて楽しんでいます。

・あいかわ福祉のひろば

10月初旬町のふるさとまつりに合わせて福祉活動の一環として、福祉センター内外を会場にゲームコーナ、団体活動の紹介やクイズ大会などで活躍しています。



・ふれあいの村

毎年秋に開催される紅葉祭りに参加し、子ども達と一緒にクラフト作りに挑戦、どんなものが出来るかワクワクです。



・災害ボランティアコーディネーター養成講座

いつ災害が発生するか解らない中、それに備え、毎年参画しています。



又、講座ではあシボの強みである車椅子の使用方法等で実践的講座にて力を発揮しています。

・各団体さんからの子ども遊び支援

各小学校並びに施設より依頼を受け、色々な遊びを支援しています。

会員も喜ぶ子どもの顔を見るのが楽しみで元気な子どもたちより強力なパワーをいただいています。



・ｽﾍﾟｰｼﾞ・ｳｪｲﾄﾚｰｼﾝｸﾞ・ﾌｧｰｽﾄﾊﾞｰﾙ

第一公園内にて2年毎に実施される当大会にスマートボールで老若男女の皆さまが楽しみながら参加いただいています。

ニュースポーツにも興味津々、大会を盛り上げています。





会員親睦行事

○新年会

一年の始まりを祝う、年最初の顔合わせ行事で、昼食を取りながら酒を酌み・カラオケを歌い、会員の親睦をはかるとともに、この一年の抱負を語り合う場として、毎年行っています。



○バーベキュー

真夏の暑気払いとして、昼食時にかけ毎年、中津川八菅橋の下で行っています。場所を取る人、買物をする人、料理をする人、食べる・飲むだけの人などに分かれるが、野外での親睦の場として、会員皆さん楽しんでいきます。



○カラオケ親睦会

2012年6月より2ヶ月毎に春日台会館にて開催して述べ回数53回、延べ参加人員531名で盛大に開催しております。



○ボラ連仲間との交流会

味彩会の協力のもと、男の料理の講習会を実施し大変美味しくいただきました。毎年の恒例行事になっています。

味彩会さんとの料理交流会



愛レクさんの指導でユニカールの楽しさを教わっただけではなく合同チームを組んでいただき神奈川県ユニカール大会に出場することができました。



○会員の趣味工芸発表会

文化会館展示室や中津公民館まつりにて会員の趣味(写真、陶芸、能面、絵画、工芸作品等)を開催し多彩な趣味を共感しています。



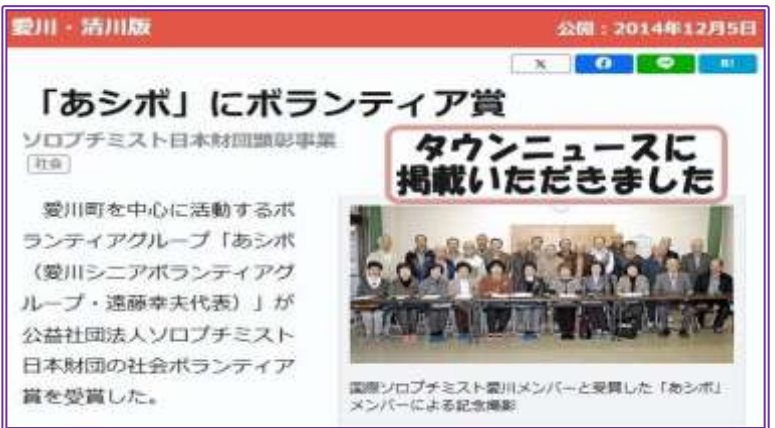
■ 外部表彰

- ① 2010年10月 小さな親切運動「実行章」
- ② 2011年04月 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
「第11回市民活動応援プログラム特別賞」
- ③ 2011年11月 老健せせらぎ10周年記念式典「施設ボランティア感謝状」
- ④ 2011年12月 国際ソロプチミスト愛川「感謝状」
- ⑤ 2014年11月 公益財団法人 ソロプチミスト日本財団「社会ボランティア賞」
- ⑥ 2014年11月 国際ソロプチミスト愛川「クラブ賞」
- ⑦ 2016年10月 神奈川県社会福祉協議会「会長表彰」

2010年に熊坂寛先生より会全員に、小さな親切運動「実行章」をいただき感謝した事を覚えていますか。あシボは多くの皆様に見守られ、応援していただいて活動しています。応援していただいている方々に感謝し頑張りたいと思います。



生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
「第11回市民活動応援プログラム特別賞」



公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
「社会ボランティア賞」



2025年1月31日あシボ定例会にて

編集後記

不器用な自分にはあシボ活動は無理と判断したのですが何故か入会して18年
そんな中で一番関心があった活動が毎月開催されるウォーキングで愛川町や近隣
市町村の神社、仏閣、旧跡、建造物の歴史や自然の豊かさを知ることができたことや
体力的にもウォーキングを通じて足腰を耐えていただき、これからも良き仲間と一緒に
健康で活動が続けていけることに感謝です(_)-☆ 村川 博